

ferret One

事例記事をカテゴリ分けする方法

2022.03 更新

1. 事例記事のカテゴリ分けとは？	3
2. この施策を打つべき企業・ご担当者様	3
3. 実施すべきタイミング・実施頻度	3
4. タグとカテゴリの違い	4
5. 実行の流れ	5
▼用意するもの	5
▼実際の手順	5
① カテゴリライズする軸を決める	5
② タグを新規作成し、各事例記事に設定する	5
③ タグごとの一覧ページを作成する	6
④ タグ一覧ページの編集をする	7
⑤ 事例一覧ページに、タグ一覧を設定する	8
6. よくあるご質問	9
Q.どんなタグをつけると良いでしょうか？	9
Q.タグ一覧のデザインを調整する方法はありますか？	9
Q.事例と同じタグをブログ記事につけているので、タグ別の一覧ページに事例記事とブログ記事が混在してしまいます。ブログ記事を除外する方法はありますか？	10
Q.各事例ページに、関連する事例や他ページを表示したいのですが、良い方法がありますか？	10
Q.事例ページのCVRを上げるためにできる工夫はありますか？	11
■ その他無料サポートのご案内	12

1. 事例記事のカテゴリ分けとは？

事例記事とは

事例記事は、既に商品・サービスを導入している顧客の「導入の決め手」や「活用している様子」を紹介するコンテンツです。商品・サービスを導入しようか迷っている検討後期段階の見込み顧客に対して、導入後の様子や第三者の客観的な意見を見せることで、導入した場合の具体的なイメージを持ちやすくなったり、商品やサービスに対する信頼感が増すといった効果が期待できます。

事例記事のカテゴリ分けとは

上記の理由から、事例記事は定期的にサイト内に追加をしていくべき重要なコンテンツですが、ランダムに数を増やしていても、顧客が自社の状況に近い事例を探すことが難しくなってしまう可能性があります。そのため、導入事例一覧ページで「業界」や「課題」といったカテゴリを区分して、顧客が事例記事を探しやすくする工夫をすることができます。

<完成イメージ>



なお、ferret Oneの標準機能では、複数条件の掛け合わせ検索をすることができないため、タグを活用したページの作成方法を本資料で解説します。

2. この施策を打つべき企業・ご担当者様

- ・事例記事を複数用意できている方
- ・事例一覧ページから各記事ページへの遷移を促せていない方

3. 実施すべきタイミング・実施頻度

事例記事が5記事未満の場合はカテゴリ分けの効果があまりないため、事例記事が多くなったタイミングで実施を検討するとよいでしょう。

4. タグとカテゴリの違い

事例記事のカテゴリ分けを行う際には、ferret Oneの「タグ」機能を利用しますが、混同されやすい機能として「カテゴリ」機能もあるため、まずは違いについて説明します。

カテゴリとは

カテゴリは、記事やページを大きく分類分けを行いたい時に使います。該当するページがどのジャンルに属す内容かを区分けし、共通のフォルダーへ困う機能となります。

(例) サイト全体のページを分類分けする：事例、お知らせなど

【カテゴリの機能】

- ・1ページ（記事）に1カテゴリだけ設定できる
- ・ページの場合、第1階層にしかつけることができない
- ・スラッグの設定ができる

タグとは

一方タグは、記事やページを関連するテーマやキーワードを複数紐付ける時に使います。こちらはカテゴリと異なり、1ページまたは1記事に対して複数設定することができる付箋のようなイメージです。

(例) 事例記事の中で分類分けする：業界別・従業員数・課題など

【タグの機能】

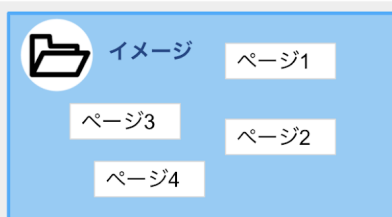
- ・1ページ（記事）に複数のタグを設定できる
- ・ページも、どの階層にもタグを設定することができる

タグとカテゴリの違い

BtoBマークするなら
ferret One

● カテゴリ

- 1ページ（記事）に1カテゴリだけ設定できる
- ページの場合、第1階層にしかつけることができない
- スラッグの設定ができる



● タグ

- 1ページ（記事）に複数のタグを設定できる
- ページも、どの階層にもタグを設定することができる



© 2021 Basic inc.

※ スラッグとは

スラッグとは、ページのURLの末尾を任意の文字列に変更できる機能を指します。スラッグとして設定した文字列がカテゴリページのURL末尾に設定されます。

(例) http://sample.com/__/categories/（ここにスラッグが入ります）

5. 実行の流れ

今回は、ferret Oneで作成した広告出稿のための事前準備の流れを説明します。

行うこと	該当箇所	備考
①事例をカテゴライズする軸を決める		—
②タグを各事例記事ページに設定する	各事例記事ページ	ferret One管理画面
③タグごとの一覧ページを作成する	タグ・カテゴリ機能	ferret One管理画面
④タグごとの一覧ページを編集する	タグごとの一覧ページ	
⑤事例一覧ページにタグ一覧を作成する	事例記事一覧ページ	ferret One管理画面

▼用意するもの

- ・ ferret One管理画面

▼実際の手順

① カテゴリー化する軸を決める

まずは、どのように事例記事をカテゴリ分けするかを決めます。一般的に多いのは、業界別・課題別ですが、カテゴリ分けする軸は商品・サービスによって異なります。

② タグを新規作成し、各事例記事に設定する

管理画面 > サイト > ページ一覧 > 各事例記事の「SEO設定」管理画面

サイト > ページ一覧 から該当ページをクリックし、「SEO設定」をクリックします。

The screenshot displays the ferret One management interface. On the left sidebar, the 'ページ一覧' (Page List) menu item is highlighted with a red box. Below it, the '導入事例' (Case Studies) menu item is also highlighted with a red box. In the main content area, the 'SEO設定' (SEO Settings) tab is highlighted with a red box. The '導入事例' menu item in the sidebar has a red arrow pointing to the 'SEO設定' tab. The 'SEO設定' page shows fields for 'ページタイトル' (Page Title), 'ページの説明文' (Page Description), and 'タグ設定' (Tag Settings). There are also checkboxes for '検索エンジン設定' (Search Engine Settings) and 'AMP設定' (AMP Settings). A '保存' (Save) button is visible at the bottom.

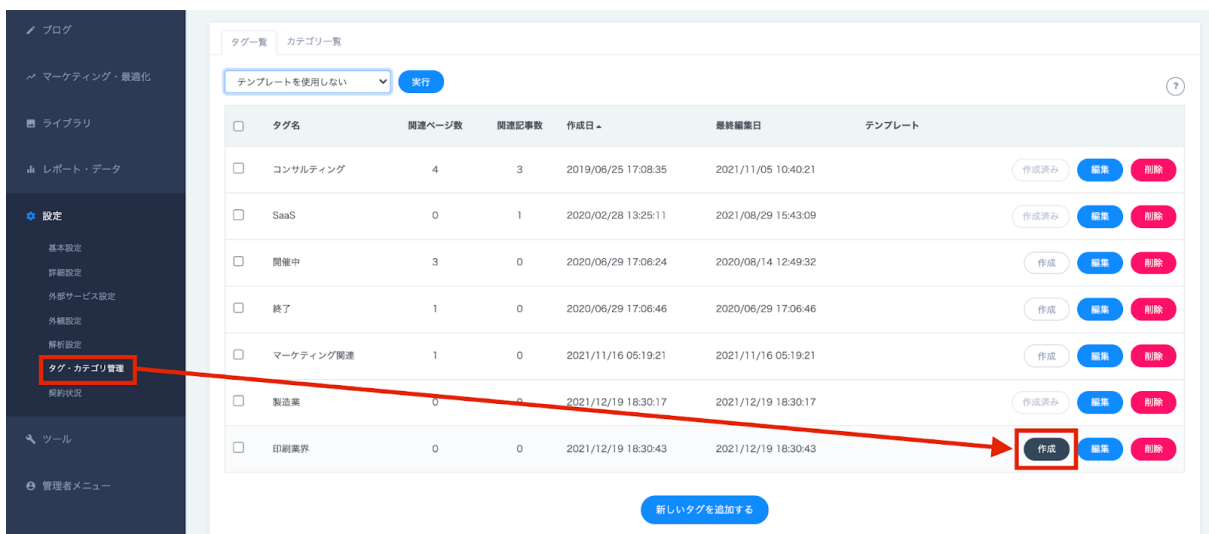
「タグ設定」に任意のタグ名を入力し、エンターかカンマを入力して完了です。複数のタグを設置することができます。



③ タグごとの一覧ページを作成する

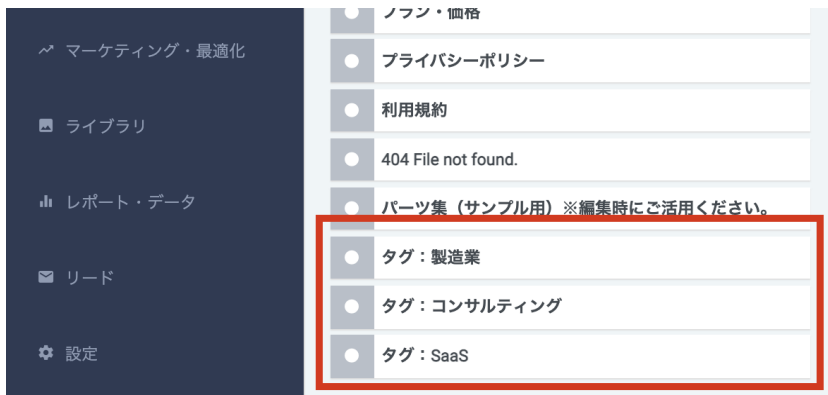
管理画面 > 設定 > タグ・カテゴリ管理画面

事例一覧ページでタグをクリックしたときに閲覧できる、タグごとの一覧ページを生成します。（例：タグ・カテゴリ管理の機能から、「作成」をクリックしていきます。



管理画面 > サイト > ページ一覧の最下部

上記設定が完了すると、タグごとの一覧ページが生成されているのが確認できます。



※各タグごとに生成をするとデフォルトのデザインになってしまうので、一つのタグでテンプレートを作成し、そこから複製をすることでデザインが反映されます。

④ タグ一覧ページの編集をする

管理画面 > サイト > 導入事例一覧ページのページ編集画面

タグ一覧ページを1つ選択してページ編集画面に入ってみると、下記のようにヘッダーとタグ記事パーツで構成されたページが表示されます。このページは、通常のページと同様に編集することができます。



ページ編集画面内の右メニューバーから、このページの基本設定 > 「ヘッダーを表示」をオフモードにし、非表示にします。その後、見出しパーツを追加し、このページの説明文を追加します。（見出しパーツを追加せずにヘッダーを編集する方法でも問題ありません。）



一覧ページの編集が終われば、「更新ボタン」をクリックして反映させます。同じように、他のタグの一覧ページも見出しを編集をします。

⑤ 事例一覧ページに、タグ一覧を設定する

管理画面 > サイト > 導入事例一覧ページのページ編集画面

最後に、導入事例一覧ページに「タグ一覧」パーツを設定して完成です。タグ一覧パーツは、ferret One内で作成したタグを一覧化して表示させることができる機能です。タグは任意のものだけを選択して表示させることができます。



タグ一覧パーツでは、文字サイズやタグ自体のサイズやデザインの変更はすることができません。もしデザインの変更を行いたい場合は、よくあるご質問の「タグ一覧のデザインを調整したいです」をご確認ください。

6. よくあるご質問

Q.どんなタグをつけると良いでしょうか？

一般的に多いのは、業界別・課題別ですが、カテゴリ分けする軸は商品・サービスによって異なります。

カテゴリ分けする目的は、ターゲットとなる顧客が自社と共通点のある事例を探しやすくし関心を抱くようにするためなので、顧客がどのような軸で情報を探すのか・営業がどのような軸で事例情報を管理しているのかを頼りに決めてみると良いでしょう。

(カテゴライズする軸の例)

- ・ ニーズや課題別
- ・ 業界別
- ・ 従業員規模別
- ・ エリア別
- ・ サービス別 (複数の商品・サービスを1つのサイトに掲載する場合)

Q.タグ一覧のデザインを調整する方法はありますか？

業界別から探す



この部分のデザインを変えたい場合

タグ一覧パーツでは、タグのサイズを変更したい・中央揃えで表示したい・文字サイズを大きくしたい・タグマークを消したい、といったデザインの調整をすることができません。

タグマークを消したい場合

タグ一覧パーツの代わりに、「リンクリストパーツ」を挿入し、手動で更新する方法があります。

[\(参考\) リンクリストパーツとは](#)

タグのサイズや色味を変更したい場合

タグ一覧パーツの代わりに、「ボタンパーツ」を挿入し、手動で更新する。もしくはパーツのデザイン調整を弊社にご発注いただくことも可能ですので、お問合せください。

[\(参考\) ボタンパーツとは](#)

Q.事例と同じタグをブログ記事につけているので、タグ別の一覧ページに事例記事とブログ記事が混在してしまいます。ブログ記事を除外する方法はありますか？

本資料の手順「④ タグ一覧ページの編集をする」にて、タグ記事リストパーツが設定されているため、該当するタグがブログにもついている場合、事例記事とブログ記事が混在して表示されてしまう可能性があります。

解決策としては、「④タグ一覧ページの編集をする」の手順で、タグ記事リストパーツを削除し、代わりに記事リストパーツを設置の上、親ページを指定する方法があります。

(手順)

- ①タグ一覧ページから、タグ記事リストパーツを削除
- ②代わりに記事リストパーツを挿入
- ③下図のように、記事リストパーツの設定画面から、親ページと該当タグを指定。



Q.各事例ページに、関連する事例や他ページを表示したいのですが、良い方法はありますか？

同じ業界や課題などの事例が多い場合は、各事例ページの最下部に関連事例を表示するという方法を取り、サイト内の回遊を促すことができます。

(作成イメージ)



手順としては、設置したい事例ページに記事リストパーツを設置し、該当するタグを設定しましょう。もしくは関連記事パーツを設置することで、該当するタグがついている記事・ブログをすべて表示することも可能です。

[\(参考\) 関連記事パーツとは](#)

Q.事例ページのCVRを上げるためにできる工夫はありますか？

CTAの設置

各事例ページにCTAを設置するのがおすすめです。事例ページを読んでいる人は、自社の課題にあった商品・サービスを探している事が多いため、特に[サービス紹介資料](#)や[実績集](#)といったまとまった資料を用意できていると、コンバージョンに誘導しやすいと思います。

例えば、ferret Oneでは複数の事例をまとめた事例集を用意して、各事例ページにCTAとして設置しています。([ferret Oneの例](#))



サービス紹介資料や実績集などの資料ダウンロード用ページの作成方法は、[関連資料「資料ダウンロードページの作成方法」](#)にて解説をしています。

アイキャッチやタイトルの工夫

間接的にCVRをあげる工夫として、アイキャッチやタイトルに数値の変化を記載する、有名企業の事例であればロゴを大きく見せるといった工夫もあります。

(例) 見たまま編集できるCMSが決め手！毎月20万円のサイト運用費を削減

(例) 創業100年の●●メーカー、webでリード獲得に挑戦！未経験からリード●倍を実現

■ その他無料サポートのご案内



運用支援サポート：貴社の状況に合わせてサイトの運用支援、施策のアドバイスを行います。必要に応じてお打ち合わせが可能です。



テクニカルサポート TEL：03-6868-8244 / Mail：管理画面右下より
受付時間：平日（月～金）午前10時～午後5時



ヘルプページ：<https://ferretone.zendesk.com/hc/ja>



操作レクチャー：https://fo-keiyaku.hmup.jp/contact_lecture
予約制です。Web会議もしくはお電話にて画面を見ながらレクチャー



もくもく会：<https://fo-keiyaku.hmup.jp/mokumoku-event>
サポートが近くにいる状態で作業ができる場を提供。（オンライン有）

■ ご請求内容の確認/変更はこちら

https://fo-keiyaku.hmup.jp/contact_option

有料サポート

貴社マーケティング施策の一部を代行・コンサルティング致します



オンライン広告運用



オンライン広告運用（LP / バナー制作）



記事制作・事例取材代行



ホワイトペーパー制作代行



SEOコンサルティング



※お見積もり・詳細に関してはアカウント担当者までご連絡ください。